



県内経済の動き

概 況

〔2025年10月～2025年12月の動き〕

一部に弱めの動きもみられる

鉱工業生産指数（10月）は2カ月ぶりに前月比低下、通関輸出額（11月 細島港）は6カ月連続で前年同月比減少した。百貨店・スーパー販売額（11月 全店ベース）は2カ月連続で前年同月比増加、「軽」を含む乗用車の販売台数（12月）は6カ月連続で前年同月比減少した。新設住宅着工戸数（11月）は2カ月連続で前年同月比減少し、公共工事（12月 保証対象請負総額）は2カ月連続で前年同月比減少した。有効求人倍率（11月）は前月比+0.03ポイントの1.20倍で、12月の企業倒産は前月比1件増の4件、負債総額は同3億19百万円減の1億95百万円となった。

景気は緩やかに回復しているが、一部に弱めの動きがみられる。衆議院選挙後の速やかな経済政策の実行が望まれる。